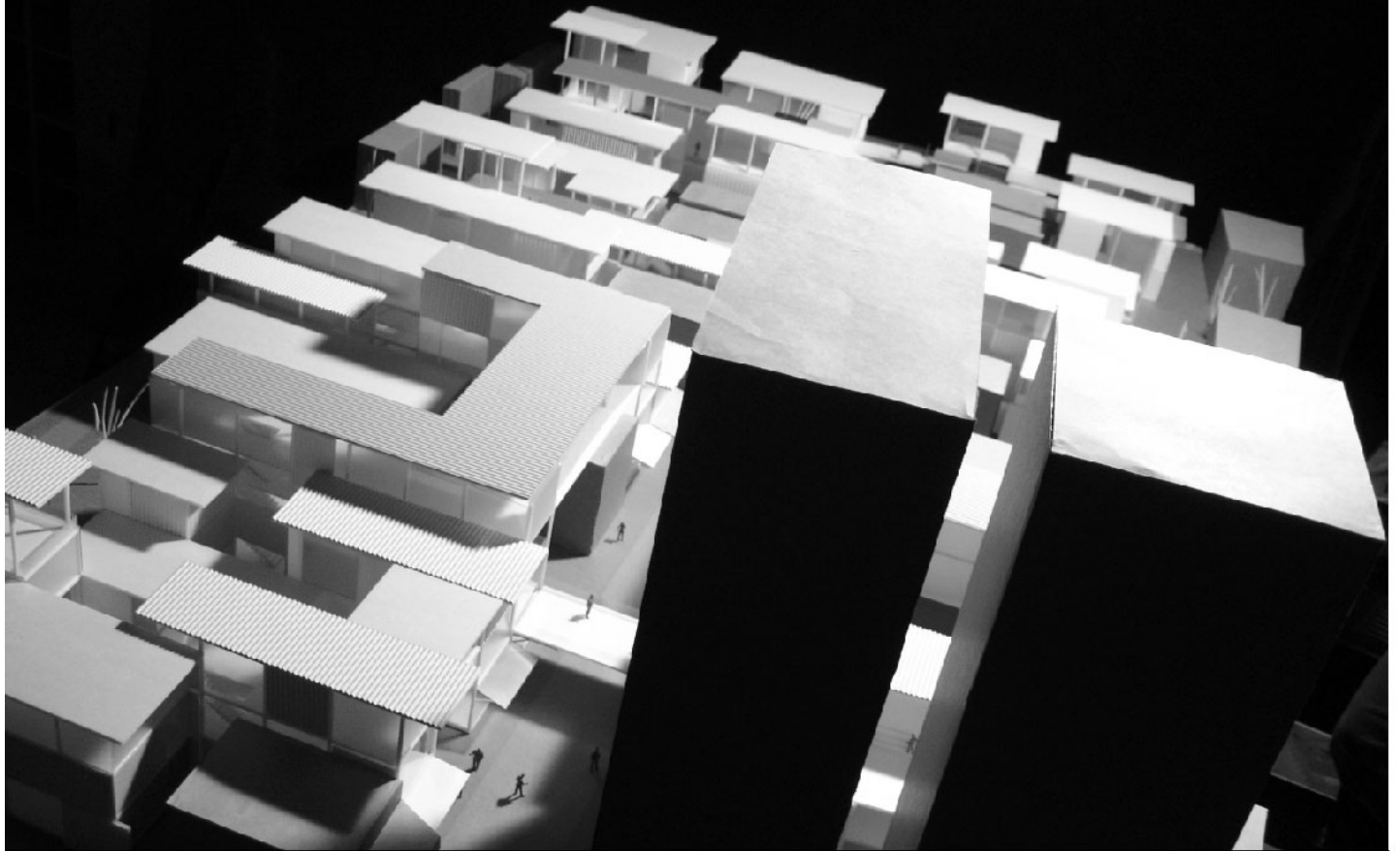


生活の在りか

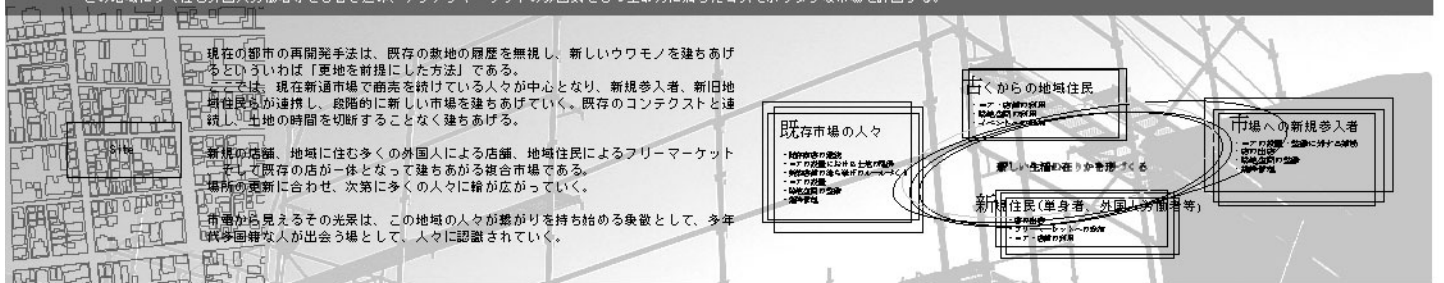


Concept

○ 生活的：人々のたゆまない日常を担保する
 ○ 継続的：根こそぎ変える面的再開発ではなく、既存の生活・建築を継続させながら段階的に進める
 ○ 波及的：周辺街区へと効果が波及していく

Program / 地域の人々を繋ぎ合わせていくための仕組み

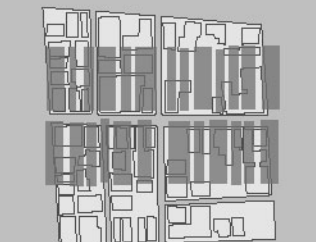
現在、新通市場で商売をしている人々、新規参入者、そして古くからの地域住民、新規住民を巻き込みながらその四者の接点に新しい市場は立ち上がる。いまも商売を続けている店舗はそのまま営業を続け、その営みと交わりながら、この地域に多く住む外国人労働者等をも巻き込み、アジアマーケットの雰囲気をもつ生命力に満ちたコスモポリタンな市場を計画する。



System / 日常を担保し、新しさを「織り上げる」建築の形成ルール

この地区の生活の在りかとなる新しい市場というプログラムの帯が、既存の市場、住居、そして高層マンションをも織り込みながら、新しい市場をかたちづくる。常にどこかつくられている市場。それは周辺街区を変えるきっかけも創り出して行く。

0. レイヤーによる構成



【レイヤーの構成】

かつてこの新通市場では町屋のスケールが、この空間の「質」をつくり、人間の営みを支えていた。しかし現在、都市の更新とともにそれも崩れている。市場の再編にあたり、既存に属している地割を手掛かりに、不均一なレイヤー状にスライスし、それを再編のガイドラインとしながら、段階的に大きくなりすぎたヴォリュームを調整していく。

1. コア



【コアの設置・機能】

人々が日常生活において交流をもつための空間であったはずの都市の公共空間は、現在では消費や交通の道に飲み込まれている。共同体の基点となる新しい市場として、半恒久的に、地域の、そして市場の活動を担保していく消費されない空間-コアが必要である。かつてこの新通市場では私有地から発生してきた「路地」が地域のコミュニケーションを支えていた。このコアも街区内の私有地から、市場の人が土地を出し合うかたちで創り出していく。

コアは、街区内の動線を中心として、伸縮性と路地、そして隣接する建築を繋ぎ、「臭」をつくりだす。街区内の日常生活の中心として、市場の横断的な交流空間、買い物空間として人々を繋ぐ。

2. ヴォリュームとヴォイドの配置



【店舗・住居等の配置】 【ヴォイドの配置と連鎖】

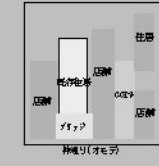
コアと壁を共有しながら、地域の更新スピードに合わせて、新たな店舗や住居が段々と張り付けていく。それにより、コアは動線を中心、市場の横断的性格を強める。

その周辺状況によって、コアも上層へ増築されていく。



ヴォイドは植栽のあるものやないものなど多種あり、街区の個性を反映する。

4. デッキ、ブリッジ

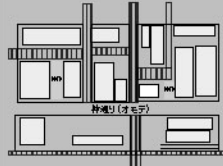


【デッキ・ブリッジの配置】

連続的な市場空間を生み出すため、既存で住居の部分には上にブリッジをかけ、立体的に市場空間を連続させる。またデッキによって、ループ状の立体的経路が生まれる。これらのハブ(接続装置)によって、コアと商店、住居が接続され、市場が立体的に展開する。



5. 路地



【路地の整備・設置と連鎖】

現在この周辺地区では、路地は交通に飲み込まれ、また適切な「ウラ」を創り出す建築がないため、路地はその機能を失っている。新通市場の再編にあたり、オモテとウラを繋ぐコアの設置をきっかけに路地をウラの動線として建築と合わせて整備を進め、新通市場を基点にネットワークを創り出していく。

